



中部小だより



2月号

令和5年2月28日

六ツ美中部小学校

「続け未来へ六中小」創立150周年記念式典



強い地域力を生かす

校長 夏目弘之

去る二月十一日（土）、本校創立一五〇周年記念式典を開催しました。御多忙の中、岡崎市長の中根康浩様、教育委員会教育長の安藤直哉様はじめ、歴代校長先生方、学校評議員、地域代表の方々にお越しいただき、盛大に行うことができました。この記念すべき周年行事の成功の要因には次の三つがあると思います。

(一) 実行委員会メンバーの熱い思いと絆

山本尚義実行委員長を中心に、実行委員会が本格的にスタートしたのは令和三年八月でした。総勢約五十名にのぼり、そのうちおよそ二十名が総務、行事、式典、記念誌等の係に分かれ、月に一度、計十六回の会合を重ねました。各係のメンバーが知恵やアイデアを出し合い、熱い情熱と責任をもって活動してくださいました。これだけの人数と会合の回数、間違いなくメンバー同士の強い絆があったからこそその結果です。

(二) 地域住民や地元企業の協力

盛大な式典が実施できたのも地域住民の方々や地元企業のご協力のおかげです。学校には記念品として、ワンタッチテント、木製ベンチ。フォトモザイクアート、体育館ピアノ修繕、花壇整備等をお贈りいただきました。全てが子供たちにとって安全かつ快適に生活するためのもので、感謝してもきれないほどです。

(三) 子供たちのパワー

忘れてはならないのが子供たちの力です。一一七点のシンボルマークデザインと一四三点の一五〇周年あいことばの応募など、六中小の一五〇歳を子供たち全員が盛り上げてくれたことが大きかったと思います。

さて来年度、本校はこの強い地域力と子供たちのパワーを武器に、市内初のコミュニティ・スクールを導入します。これを機にどこにも誇れる、『地域とともにある学校』を目指していききたいと考えています。



挨拶をする山本実行委員長



誓いの言葉を述べる代表児童



来賓祝辞を述べられる中根岡崎市長



講演されたダカフェ・大山さん



花束を渡す代表児童



披露されたモザイクアート



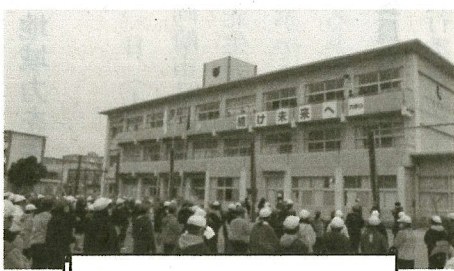
中部小出身・古川真帆さん(ファゴット)



記念演奏会



中部小出身・鈴木 絢さん(ヴァイオリン)



スローガン看板除幕式



「未来くる広場」に決定！
百五十周年に合わせ
て整備した、メイン花壇
横の芝生広場の名前を
環境委員会で募集した
ところ、三年一組の杉浦
咲紀さん考案の「未来く
る広場（みらくるひろ
ば）」に決まりました。
スローガンにもあるよ
うにこれから未来に向
けて六中小のみんなに
大切にしてほしいとの
願いを込めて、委員会
のメンバーで看板を製
作し、設置しました。御
来校の際には、是非御覧
ください。

- ◆三月の予定◆
- 二日（木）感謝の会
交通少年団引き継ぎ式
六年生を送る会
 - 三日（金）六年校外学習
 - 六日（月）委員会（最終）
 - 七日（火）通学団会
 - 八日（水）三・四・五組お別れ遠足
 - 九日（木）卒業式練習開始
 - 十日（金）同窓会入会式
 - 十四日（火）ワックスかけ
 - 十五日（水）卒業式予行
 - 十七日（金）卒業式準備
 - 一三・四〇下校（一〜四・六年）
 - 一五・〇〇下校（五年）
 - 二十日（月）
 - 第七十六回卒業証書授与式
 - 二十三日（木）給食終了
 - 二十四日（金）修了式
一斉下校二：〇〇
 - 二十五日（土）春休み



150周年記念誌